

# 落小だより

学校HP (子どもたちや学校の様子を随時掲載中)

<https://www.town.yakumo.lg.jp/site/otoshibe-es>



学校の教育目標  
豊かな心を持ち、自ら考え判断し、  
たくましく生きる人間の育成

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・明るくたくましい子

## 9時間2万歩

校長 宮川 高宏

栄浜恵美須神社の宵宮祭から、落部八幡宮祭典委員の直会まで、5日間に渡る祭儀等が無事終了しました。いやあ、一大イベントでしたね。

特に、神輿渡御では本校4年生太陽くんと和真くんが「お猿」となり、落部全域の路地から路地を駆け巡り、地域の皆さんからのご祝儀を受け取りました。午後からは炎天下となった過酷な中、元気に笑顔でやり遂げました。素晴らしかったです。(高校生の3名の巫女さんもです)

私も鎌田落部中学校長と二人、神輿の殿(ツガリ)を務めさせていただきましたが、まあまあどうして、なかなかでした…。

もちろん、各町内会でも子供神輿があったので、本校の落部っ子たちも元気に地域行事に参加したのでしょうか。今年度から職員減少のため、先生方は二人組で複数町内会を回りましたが、どの町内会も活気にあふれていたと聞いています。

さらに本祭では、剣道少年団の奉納試合や復活の子供相撲もあり、地域の宝である子どもたちが、たくさんの人々を笑顔にしてくれました。天候にも恵まれ、本当に良いお祭りだったと思います。

責任総代である千葉祭典委員長さんを訪ね、落部八幡宮の歴史を伺いました(民泊施設も見学させていただきました)。260年以上の由緒ある神社で格式は道内3位、道内5社しかない「八幡宮」の一つ。本場京都の職人も唸った、上の湯伝説の宮大工が作った旧神輿の話等々。

八雲町内でも特に歴史ある、この落部地区。神社も祭りも、子どもたちが誇れるような立派なものです。まさに「落部プライド」。

本校は、「落部の良さを感じ、落部が好きになるふるさと学習」に取り組んでいます。

今後も学校・保護者・地域一体となり、地域に貢献し、その文化を継承する心豊かでたくましい子どもを育てたいです。



# 10月行事予定



日	曜	行 事	日	曜	行 事
1日	水	全校 5h 小中合同避難訓練 掃除話し合い	16日	木	二計測・視力(4年)
2日	木	1年 4h 2~6年 5h	17日	金	2・3年 6h 全校朝会 二計測・視力(5・6年)
3日	金	フッ化物洗口 全校 5h 小中合同清掃活動	18日	土	
4日	土		19日	日	
5日	日		20日	月	学習発表会係活動①(6h)
6日	月	後期委員会①	21日	火	
7日	火		22日	水	全校 5h 学習発表会総練習
8日	水		23日	木	3年 5h 学習発表会係活動②(6h)
9日	木		24日	金	低 4h・高 5h フッ化物洗口 前日準備(5h)
10日	金	全校 3h 前期終業式	25日	土	学習発表会
11日	土		26日	日	
12日	日		27日	月	振替休業日(学習発表会)
13日	月	スポーツの日	28日	火	
14日	火	全校 3h 後期始業式	29日	水	図書バス来校
15日	水	委員会② 二計測・視力(1~3年) 色覚(1年)	30日	木	睡眠講話(4~6年,3h)
			31日	金	全校 4h フッ化物洗口

## 「全国学力・学習状況調査」の概要をお知らせします

4月に6年生を対象に行われた本調査について、本校の結果と分析がまとまりましたのでお知らせします。

### 【学力面】

**国語…本校平均：75% 全道平均：65% 全国平均：66.8%**

本校は全国・全道平均をともに上回りました。

言葉の特徴や使い方、情報の取り扱い、書くこと・読むことに関する問題で特に高い正答率でした。一方で、話すこと・聞くことは全国平均をわずかに下回りました。

短答式、長文記述式のどちらも良好な結果でした。

**算数…本校平均：65% 全道平均：55% 全国平均：58.0%**

数と測定、図形、データの活用が高く、測定分野がやや低い傾向でした。

選択式・短答式は平均を大きく上回ったものの、記述式はわずかに下回りました。

**理科…本校平均：62% 全道平均：56% 全国平均：57.1%**

全領域で平均を上回り、特に「地球」に関する領域で高い成果が見られました。

算数同様、選択式・短答式が好成績でしたが、記述式は全国平均をやや下回りました。

これらの結果を踏まえ、根拠を明確に示しながら要点をまとめる記述力の育成に一層力を入れていきます。知識・理解を基盤に、思考・判断・表現を深める学習を重視して指導を続けます。

### 【児童質問紙】

以下の質問に対し、肯定的な回答が多く、自己肯定感や安心感の高さがうかがえました。

「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」「人が困っているときに進んで助ける」「困りごとや不安がある時、先生や学校の大人に相談できる」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」

また、ICT機器の活用、話し合い活動、発表活動などについても、全国や全道より積極的に取り組んでいるという回答が多く見られました。

今後は、学力調査と児童質問紙の結果を合わせてさらに詳しく分析し、学校運営の改善に生かしてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。